



想青学園だより

～ 学びあい 育ちあう～

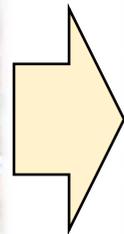
2025年（令和7年）6月6日 No.8



学(びに向かう)力



授業を受ける前



授業を受けて

5日（木）、FMふくやまのパーソナリティ平野敬子さんを講師としてお招きし、話すときの姿勢や発声方法、聞き取りやすい話し方を1年生に教えていただきました。温かで穏やかな、それでいて迫力のある声に1年生もあつという間に引き込まれ、平野先生の言葉に反応するように、みるみる姿勢や発声が変わっていきました。

普段何気なく話している言葉をほんの少し意識するだけで、子どもたちの声はあつという間にはっきりと聞き取りやすくなっていきました。

学校は子どもたちに確かな学力をつけることです。とはいえ「学力」とは、単にテストの点数だけのことではありません。学びに向かう力も「学力」です。そんな学力を身につけるためには、子どもたちが自分を見つめ返し、成長し、それを自信につなげることも大切です。

今回の平野先生の授業では、子どもたちも楽しみながら、できなかったことができるようになる喜びや、確実に変わっていく自分たちの姿に自信をつけていました。それがこれから学びを深めていくための土台となり、失敗を成長の機会とし、挑戦し続ける人へと育ってくれるものと信じています。

これから他の学年でも平野先生の授業を予定しています。どのような変化が見ることができるか楽しみです。

携帯電話の危険性（保護者の皆さんへお願い）

1人1台端末（Chromebook）に象徴されるように、情報機器が私たちの生活には欠かせないものになりました。本校に通う児童生徒の中にも、自分用の情報端末（スマホ等）を持っている子がいます。正しく使えばとても便利で、自分の安全を守れるものではありませんが、少し間違えるだけで大きなトラブルにつながるものでもあります。そのため、学校でも子どもたちには正しい使い方や、守らなければならないことなど授業の中や必要に応じて話し、子どもたちと考えています。

しかしながら、子ども同士のスマホやゲーム上でのトラブルが後を絶ちません。子どもたちの人間関係は時代とともに大きく形を変え、私たち大人には、直接目に見えないものになっています。トラブルの中身も多種多様で、SNS上でのトラブルの指導も学校では大変難しくなっています。そこで、保護者の皆さんにお願いです。

スマホ等を持たせる場合には、今一度、ご家庭で使用方法やマナーやモラル等についてしっかりとお子さんと話をしてください。子どもたちが、被害者になる前に、加害者となる前に教えておかなければならないことがあります。我々大人の目が届きにくいものだからこそ、スマホを持たせる責任のひとつとして、お子さんの使い方に関心を持っていただきたいのです。そして、心配なことや不安なことは各ご家庭でお子さんと話をしてください。

学校でも引き続き、子どもたちが正しく使えるように、被害に巻き込まれないように、加害を加えないように今後も話をしていきます。保護者のみなさんと一緒に取り組んでいけたらと思いますので、何卒よろしくお願いたします。



8年生の国語科ではChromebookを使って、自分で作った資料をもとに発表を行っていました。英語科でもスライドを作成し、全て英語で自分のことを紹介するクイズを発表していました。情報機器は使い方次第。子どもたちの可能性を広げていくような使い方を学校でも行っていきたいと思っています。